

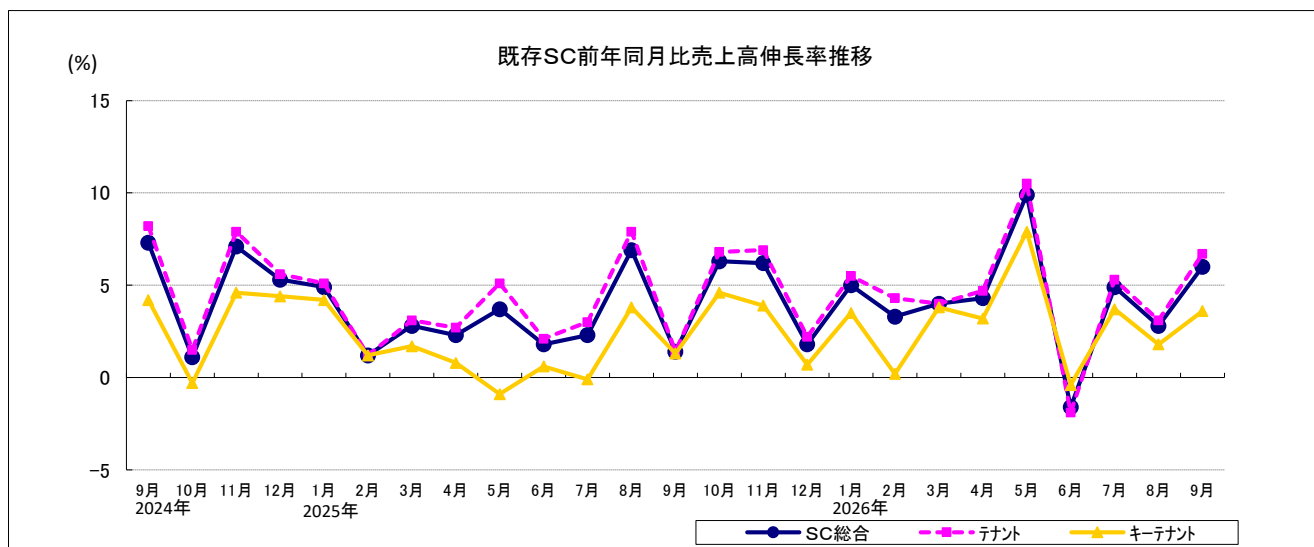
SC販売統計調査報告2026年9月

既存SC前年同月比売上高伸長率 : +6.0%

5連休のシルバーウィークで全国的に集客・売上げ好調

< 2026年9月度・全体概況 >

- 9月度の既存SC売上高の前年同月比伸長率は、総合で+6.0%となった。
- 2015年以来11年ぶりにシルバーウィークが5連休となったことに加え、前年に比べて休日日数が1日多かったことで来館増となり、売上げにつながったSCが多かった。また、リニューアルやテナントの新規入店が好調要因となった。
- 立地別にみると、中心地域は総合で前年同月比伸長率+7.0%、周辺地域は同+5.6%となった。中心地域は、駅ビルや駅周辺のSCなどで旅行客や近隣イベント参加客の来館が多くみられた。周辺地域は、5連休となったことでレジャー需要に対応する広域商圈型SCがとくに好調だったほか、館イベントやポイント施策などで集客につなげたSCが好調だった。
- 業種別にみると「ファッション」は気温低下が進んだことで、ジャケットなどの秋物商品が稼働した。前年は残暑が厳しかったが今年は一転して涼くなったため、盛夏・晩夏商品を準備していた店舗では最終消化が進まなかったとの声が聞かれた。「雑貨」はIP・キャラクター商品のほか、雨天が多かったことでレイングッズが稼働した。ハロウィン商品の早期展開も売上げにつながった。「飲食」はシルバーウィーク期間中に旅行客やファミリー層、若年層のグループ利用が多くみられ、秋の季節メニューが好調だった。また、原材料費の価格転嫁により客単価が上がっているとの声が聞かれた。「サービス」ではシネマが前年にヒット作があった反動で不調だったとの声が聞かれた。

この件に関するお問い合わせは 情報・リレーション部: 菰田・木口
TEL: 03-5615-8524